令和２年度第１回千葉市中央区公民館運営審議会議事録

１　審議期間

令和２年８月１１日（火）～令和２年８月３１日（月）

２　委　員

水谷委員、飯島委員、伊藤委員、大内委員、甘利委員、
吉川委員、向後委員、大野委員、尾後貫委員、都築委員、
鎮守委員、内山委員、桝田委員

３　議　題

（１）令和元年度公民館利用状況について

（２）令和元年度公民館事業成果及び令和２年度公民館事業計画について

４　議事の概要

（１）令和元年度公民館利用状況について

令和元年度における各公民館・図書室の利用状況を報告した。

（２）令和元年度公民館事業成果及び令和２年度公民館事業計画について

令和元年度における各公民館の事業成果、令和２年度における運営方針、事業計画の重点項目・特色、前年度からの改善点を報告した。

５　会議経過

事務局より資料送付し、書面による審議により開催した。

６　委員からの意見

議題１　令和元年度公民館利用状況について

【伊藤委員】

生浜公民館の利用、コロナの為、中止がなかったら、まだ増員したと思います。理由がわかりますか？

（事務局）

生浜公民館は、平成３０年度は館内放送設備改修工事のため平成３０年１１月～１２月に２１日間休館し、令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和２年３月に１７日間休館し、前年度対比で開館日が増加したこと、主催事業も増加させたこと、また通常他館を利用している複数の団体の利用があったことなどにより、全体的に増加したと考えております。

ご指摘のとおり、より多く開館することができれば、更なる利用増があったと考えています。

【吉川委員】
　昨年度の台風の被害状況など、利用期間に制限があり、更に今年に入りコロナの影響等、通常の利用が難しい点があったことは、念頭におきたい。
（事務局）
　椿森公民館は、１週間ほど避難所が継続されました。避難者がいる中で、歌ったり演奏したりと楽しく活動している姿は、避難者の立場からどうなのだろうかと、避難所開設と、通常の公民館運営は両立してよいのかと、矛盾を抱えながら公民館運営を行いました。
　末広公民館は、９・１０月は風水害による避難所開設等があったが、利用状況は対前年度比増加となっています。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休館の影響で３月は対前年度比１７．３％の利用状況でありました。

【向後委員】
　コロナ禍の影響なのでしょうか。利用者が減っているのが心配なところです。
（事務局）
　令和２年に入り、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市内公民館も閉館となり、通常の開館日が少なくなったため、利用者が減少したと考えられます。

議題２　令和元年度公民館事業成果及び令和２年度公民館事業計画について
【吉川委員】
　コロナの影響で、学校の長期休みも短期になり、子供教育事業の計画には、是非、多勢参加してもらいたいと思います。
（事務局）
　新宿公民館では、子ども向けの「わくわく体験広場」を２講座実施しました。応募も多く、少しでもたくさんの子どもが参加できるようにと、講師の先生にお願いして、同日に同内容で２回実施し、子どもたちも意欲的に参加してくれました。
　末広公民館では、７・８月に少年教育事業を２事業開催し、児童２２名、親子１組の参加となっております。

【内山委員】
　事業計画について、各事業ともに三密を防止する対策を考えている事と思います。
　コロナ対応を考えた際、事業に中学校区内の参加者募集等の区域の制限があってもよいかと考えます。
（事務局）
　新宿公民館ではもともと、地域の子ども対象の「わくわく体験広場」や地域の高齢者を対象とした「ゆうきの寿大学」はありますが、大人向けの講座は地域を絞ると参加者の確保が難しいかと考えます。

椿森公民館では、小中学生の事業に関して、近隣の学校にチラシを配布して募集しており、市政だよりには掲載しておりません。
末広公民館では、参加者募集人数を抑えたため、公民館だより・近隣小中学校への案内に絞って、７・８月の主催事業を周知しました。結果として、地域住民を主とする参加状況となりました。

【桝田委員】
令和元年度事業の実施は、新型コロナ対応の影響にもかかわらず、各公民館における成果は十分評価できる。
また、公民館での感染者がゼロであったことは、振興課の適確な指導の賜と思われる。令和２年度事業計画は前年度の成果および反省の上に、新型コロナ感染対策をふまえた事業が組まれて実施されている。
感染者がでないように利用者へ十分な心構えを徹底して欲しい。
（事務局）
現在市内の公民館では、教育委員会指導のもと主催講座等において、一部制限があり未だに実施出来ない講座・教室等もございます。現在も換気・消毒等による感染防止に努めておりますが、３密を避け、公民館職員及び利用者に感染者がでないよう徹底いたします。
また、中央区公民館においては、今年度は、多数網戸の設置をいたしました。教育委員会及び施設職員指導のもと利用者においても３密の徹底を図るとともに、１日でも早く新型コロナウイルスが終息することを願います。

【向後委員】
毎回感じますが、どれもよい取り組みだと感心しています。
（事務局）
公民館は、地域密着の一社会教育施設として、今後も各地域のニーズに合った事業を展開していきます。

その他　質問・意見
【伊藤委員】
クラブ連絡会は、各公民館にありますか？
生浜さんが取り込んでいるＡＥＤの講習を全館毎年実習した方が良いと思います。
各地区の新年受賞祝賀の会は、公民館使用してますか？あるとしたら内容を教えてください。
（事務局）
クラブ連絡会組織は、中央区全館にあります。
ＡＥＤ講習は、生浜公民館においては平成３０年度から３年間でクラブ・サークル全団体の代表者等に受講してもらい、緊急時の対応に協力していただけるように努めてい

るところであり、他館における開催実績もありますが、より多くの命が救われるよう積極的に開催する方向で検討していきたいと考えています。
　新年受賞祝賀会会場としての利用実績は、基本的にはありません。

【桝田委員】
　新規事業については、広報が重要であり、単に広報誌掲載にとどまらず、例えば、所在の町内会の回覧等に添付してもらうのも一案である。
（事務局）
　椿森公民館では、公民館だよりに主催事業の募集を掲載し、町内会に回覧を依頼し地域の全家庭に広報活動をしています。
　生浜公民館では、令和元年度より主催事業チラシや公民館だより、公民館情報誌を、生浜地区の１１町内会・自治会に回覧しています。
　末広公民館では、公民館情報誌（隔月）・公民館だより（毎月）を町内会で回覧していただいております。
　ご意見を参考に、より充実した広報ができるよう、検討していきたいと思います。

【向後委員】
　新しい環境での講座づくりは大変だと思います。リアルレッスンが減る中での公民館のあり方、真剣に考えないといけないなと思いました。
（事務局）
　主催講座の開催に制限がかかっており、今後はオンラインの活用など、コロナ禍に対応した新たな実施方法について検討を進めてまいります。